

公開実用新案公報

昭53—70119

⑤Int. Cl.²

識別記号

⑥日本分類

庁内整理番号

③公開 昭和53年(1978)6月13日

H 04 B 1/08

96(7) C 9

7230—53

H 03 J 5/00

96(1) A 12

7230—53

H 05 K 7/14

96(1) A 3

6321—53

審査請求 未請求

59 G 0

5334—57

(全 2 頁)

④VHFチューナ

⑦考案者 吉村一則

①実 願 昭51—152687

金沢市西金沢新町134番地 株式会社金沢電子製作所内

②出 願 昭51(1976)11月13日

⑧出 願 人 株式会社村田製作所

⑦考案者 伊藤勝男

長岡京市開田西陣町16番地

金沢市西金沢新町134番地 株式会社金沢電子製作所内

⑨代 理 人 弁理士 深見久郎

⑥実用新案登録請求の範囲

(1) 合成樹脂からなるウエハと、

前記ウエハを保持する枠部材とを含み、

前記枠部材には前記ウエハに形成された係合部が挿入される透孔が設けられ、前記係合部および前記透孔は少なくとも2対あり、

前記少なくとも1対の係合部および透孔は、前記係合部が強制的に弾性変形したままで前記透孔に挿入されるように、相互の形状が選ばれていて、それによつて、

前記透孔に挿入された係合部は前記透孔の端縁部に弾発的に圧接して実質的に固定される、VHFチューナ。

(2) 前記係合部は前記透孔に圧入によつて前記挿入されるように、その先端形状が前記挿入に応じて徐々に前記弾性変形するように選ばれた、実用新案登録請求の範囲第(1)項記載のVHFチューナ。

(3) 前記先端形状はテーパがつけられた、実用新

案登録請求の範囲第(2)項記載のVHFチューナ。

(4) 前記先端形状は勾配がつけられた、実用新案登録請求の範囲第(2)項記載のVHFチューナ。

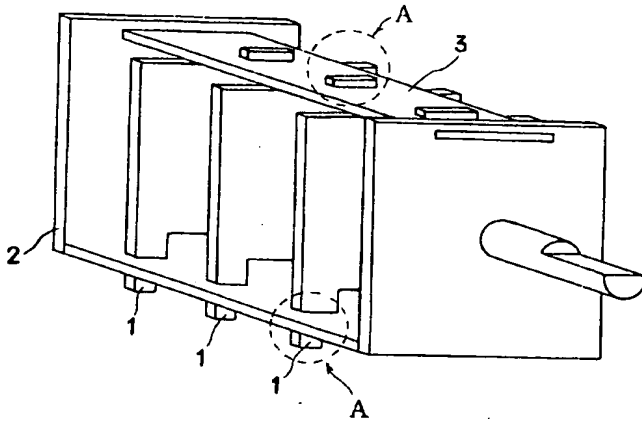
(5) 前記先端形状はアールがつけられた、実用新案登録請求の範囲第(2)項記載のVHFチューナ。

図面の簡単な説明

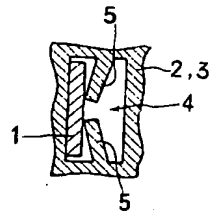
第1図はこの考案の背景を説明するためのVHFチューナの概略図である。第2図～第4図はこの考案の先行技術を説明するための断面図である。第5図はこの考案の一実施例を説明するためのウエハ1の要部拡大図であり、第5図aは上面図、同じくbは正面図、同じくcは右側面図である。第6図は第5図のウエハ1がシャーン2又は固定金具3側に係合した状態を示す断面図である。第7図、第8図および第9図はこの考案の他の実施例を説明するための図である。

図において、1はウエハ、2はシャーン、3は固定金具、10は係合部、11、12は壁部、13は勾配、14はアール、15は透孔である。

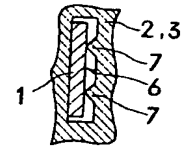
第 1 図



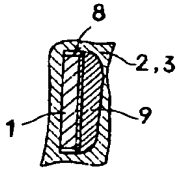
第 2 図



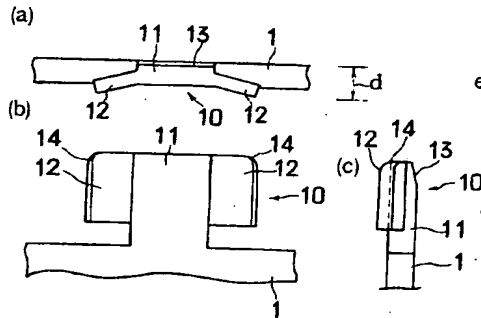
第 3 図



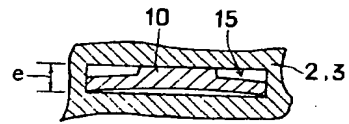
第 4 図



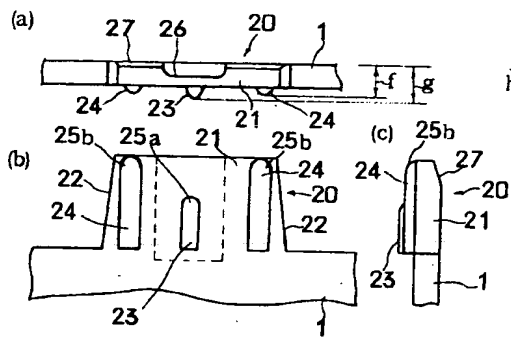
第 5 図



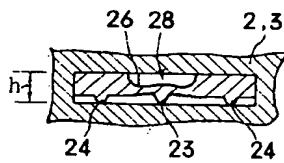
第 6 図



第 7 図



第 8 図



第 9 図

